# 社会保障WGの進め方及び検討事項について (案)

令和7年11月21日 内閣府政策統括官(経済社会システム担当)付

### 計画推進のための取組の強化に向けて

● 「経済財政運営と改革の基本方針2025」(令和7年6月13日閣議決定。以下「骨太方針2025」という。)に基づき、「経済・財政新生計画」を推進するため、本委員会において、引き続き、以下の取組を実施する。

#### ① 「EBPMアクションプラン」の見直し・強化(「EBPMアクションプラン」の改訂)

- ◆「予算の全体像」に盛り込まれた重要な改革項目の追加
  - ・ 2040年以降を見据えた介護提供体制の確保を対象に追加
  - 急激な少子化の進行等を見据えた連携・再編・統合による高等教育の機能強化や規模の適正化を対象に追加 等
- ◆ 10の重要政策・計画の分析・検証を本格化
  - EBPMアドバイザリーボード等の指摘を踏まえた活用データ及び分析手法の具体化

#### ②「経済・財政新生計画 改革実行プログラム」の改訂

- ◆「骨太方針2025」に新たに盛り込まれた施策を対象に追加
- ◆ 改革の実現に向けたスケジュールの改定

#### ③「経済・財政新生計画 進捗管理・点検・評価表」の改訂

- ◆「骨太方針2025」に新たに盛り込まれた施策を対象に追加
- ◆ 今後の検討とされていた事項の指標の設定、ウェルビーイングに関係する指標の反映
- ◆ KGI、KPIの進捗状況の点検・評価

# 社会保障WGにおける主な検討事項

● 前回のEBPMアドバイザリーボード及び経済・財政一体改革推進委員会で示された検討事項を踏まえ、「改革実行プログラム」「進捗管理・点検評価表」「EBPMアクションプラン」の改訂に向けて、本WGでは以下の検討課題を中心に検討を進める。

向けて、本WGでは以下の検討課題を中心に検討を進める。		
検討課題	主な論点・課題、検討の視点	
1. 効率的な医 療・介護 サービスの 提供体制の 構築	(主な論点・課題) <ul> <li>▶ 医療提供体制(新たな地域医療構想の策定、新たな地域医療構想に向けた病床削減、医師偏在対策)</li> <li>▶ 医療費適正化</li> <li>▶ 医療DXを通じた効率的で質の高い医療の実現</li> <li>▶ 効率的な介護サービス提供体制の構築</li> <li>・ 2040年以降を見据えた介護提供体制の確保、地域包括ケアシステムの深化</li> <li>・ 介護人材の確保、介護現場の生産性向上</li> </ul>	
	(検討の視点)  ✓ 高齢化や人口減少に伴うニーズの変化への対応  ✓ 地域の実情に応じたサービス提供体制の構築(特に、中山間・人口減少地域でのサービスの維持・確保)  ✓ 生産年齢人口が減少する中での医療・介護人材の確保、より実効性のある医師偏在対策  ✓ 医療・介護DXによる生産性の向上・効率化  ✓ 医療介護連携や多職種連携の強化	
<ol> <li>2. 医薬品等のイノベーションの推進、安定供給確保</li> </ol>	(主な論点・課題) <ul><li>♪ 創薬力強化に向けた総合的な支援</li><li>▶ 医薬品の安定供給の確保</li><li>▶ 信頼確保と安定供給を前提とした上での、後発医薬品の適切な使用促進</li><li>▶ 地域フォーミュラリの全国展開</li></ul>	
	(検討の視点) ✓ 創薬エコシステムの構築、治験環境の整備等の創薬力強化に向けた具体的な方策 ✓ 医薬品の安定供給体制の強化に向けた具体的な方策 ✓ 医療費適正化の観点を含む後発医薬品の適切な使用促進 ✓ 医療機器のイノベーションの推進等	

### 社会保障WGにおける主な検討事項

● 前回のEBPMアドバイザリーボード及び経済・財政一体改革推進委員会で示された検討事項を踏まえ、「改革実行プログラム」「進捗管理・点検評価表」「EBPMアクションプラン」の改訂に向けて、本WGでは以下の検討課題を中心に検討を進める。

検討課題	主な論点・課題、検討の視点
3. 「全世代型 社会保 を は を は り う も り う	<ul> <li>(主な論点・課題)</li> <li>医療保険制度及び介護保険制度における給付と負担の在り方(OTC類似薬をはじめとした薬剤保険給付の在り方の検討、現役世代に負担が偏りがちな構造の見直しによる応能負担の徹底、高額療養費の在り方の検討、介護保険の利用者負担の判断基準の見直し等)</li> <li>新たな地域医療構想に向けた病床削減 ※「1.効率的な医療・介護サービスの提供体制の構築」で議論</li> <li>医療DXを通じた効率的で質の高い医療の実現 ※「1.効率的な医療・介護サービスの提供体制の構築」で議論</li> <li>地域フォーミュラリの全国展開 ※「2.医薬品等のイノベーションの推進、安定供給確保」で議論</li> <li>がんを含む生活習慣病の重症化予防とデータヘルスの推進</li> <li>令和8年度診療報酬改定関係</li> <li>(検討の視点)</li> <li>医療費及び介護給付費の適正化、医療・介護DX等の推進による生産性向上、保険給付の範囲や自己負担の見直しなど、持続可能な社会保障制度のための改革</li> <li>現役世代の保険料負担を含む国民負担の軽減の実現</li> <li>年齢に関わりなく能力に応じて負担し、個性を活かして支え合う「全世代型社会保障」の構築</li> <li>物価・賃金が上昇する中での医療機関・介護事業所の経営の安定と人材の確保</li> </ul>

## 社会保障WGにおける主な検討事項

● 前回のEBPMアドバイザリーボード及び経済・財政一体改革推進委員会で示された検討事項を踏まえ、「改革実行プログラム」「進捗管理・点検評価表」「EBPMアクションプラン」の改訂に向けて、本WGでは以下の検討課題を中心に検討を進める。

検討課題	主な論点・課題、検討の視点
4. 年齢・性別 に関わらず 生涯活躍で きる環境整 備	<ul> <li>(主な論点・課題)</li> <li>▶ 女性活躍</li> <li>▶ 高齢者就労促進</li> <li>▶ 予防・健康づくり(生活習慣病の予防の推進等、特定健診・特定保健指導の推進、データヘルス計画の作成等、がん対策・ゲノム医療の推進等)</li> <li>▶ 働き方に中立的な社会保障制度等の構築</li> </ul>
	<ul> <li>(検討の視点)</li> <li>✓ 年齢や性別にかかわらず、誰もが可能な限り長く、健康で有意義な生活を送りながら活躍できる社会の実現</li> <li>✓ 全ての労働者が能力や個性を発揮し、Well-Beingの観点も含め、希望どおりに働くことができる社会</li> <li>✓ 近年、就業が進んできた女性や高齢者について、本人の希望も踏まえつつ、正社員化やフルタイム勤務も含む多様で柔軟な働き方を選択することができるような取組の促進</li> <li>✓ 地方自治体、医療保険者、企業・事業主などの連携による健康寿命の延伸に向けた取組</li> <li>✓ 働き方の多様化や健康寿命・就業期間の延伸を踏まえた社会保障制度等の見直し(被用者保険の適用拡大等)</li> </ul>
5. 急速な人口 減少に歯止 めをかける 少子化対策	<ul> <li>(主な論点・課題)</li> <li>♪ 「加速化プラン」の着実な実施</li> <li>▶ 少子化対策・子育て支援の効果検証に係る指標の更なる検討</li> <li>(検討の視点)</li> <li>✓ こどもを生み、育てたいとの希望が叶えられる社会の実現による少子化トレンドの反転と、こどもたちが健やかに育まれる社会の実現によるこども・若者のWell-beingの向上</li> <li>✓ 社会状況の変化を踏まえた、政策体系全体にかかる評価方法・指標の精緻化</li> </ul>

# 年内の社会保障WGの進め方(案)

● WGで取りまとめた改訂案を年末の経済・財政一体改革推進委員会及び経済財政諮問会議へ報告する。 さらに、WG等での議論の内容も踏まえつつ、来年度の骨太方針に向けた議論を行っていく。

8月19日	第21回EBPMアドバイザリーボード
9月16日	第54回経済・財政一体改革推進委員会
11月21日 第55回WG	〈第1部〉 <ul> <li>・議事1 効率的な医療・介護サービスの提供体制の構築</li> <li>・議事2 医薬品等のイノベーションの推進、安定供給確保</li> <li>・議事3 「全世代型社会保障」を構築するための給付と負担の在り方</li> <li>・議事4 財政制度等審議会における議論の状況</li> </ul>
(今回会議)	<第2部> ・議事1 年齢・性別に関わらず生涯活躍できる環境整備 ・議事2 急速な人口減少に歯止めをかける少子化対策
12月上旬 第56回WG	「改革実行プログラム」「進捗管理・点検評価表」「EBPMアクションプラン」の改訂案とりまとめ
12月上旬~中旬	経済·財政一体改革推進委員会
~12月末	経済財政諮問会議 (報告·決定)